

保護者等向け継続調査（SSH研究開発実施報告書Ⅱ期 第1年次より）

調査 R6年度…R7.1～R7.2 回答数99

P-1 SSHの取組について、以下の項目はお子様の成長に効果があったと感じますか。

1 Merakiや研究発表を通じて将来にも通じる探究的なスキルを身に付ける。

年度	とてもあった	あった	わからない	回答数
R6	9.1%	36.4%	54.5%	99

3 国際性の学習活動を通じて、海外の人々にも自身の学習成果を伝えられる素養を身につける。

年度	とてもあった	あった	わからない	回答数
R6	15.3%	22.4%	62.2%	98

5 プログラミングや統計解析など高度な情報活用技術を身につける。

年度	とてもあった	あった	わからない	回答数
R6	15.2%	30.3%	54.5%	99

P-2 次のホームページ発信に関する閲覧頻度をご回答ください。

1 新着ニュース

年度	年に数回以上	年1回	3年に1～2回	ない	回答数
R6	52.5%	21.2%	16.2%	9.1%	98

3 進路結果・進路状況

年度	年に数回以上	年1回	3年に1～2回	ない	回答数
R6	37.4%	36.4%	22.2%	4.0%	99

5 情熱メレーキ（SSH通信）

年度	年に数回以上	年1回	3年に1～2回	ない	回答数
R6	22.2%	28.3%	33.3%	16.2%	99

P-3 海外研修についてのまちComi配信についてご回答ください。

年度	期待し、毎日確認していた	配信に気づき、確認した	確認していない・気づかなかった	回答数
R6	5.1%	49.5%	45.5%	99

P-4 ニュースやインターネットなどで発信される次のトピックに関するご関心について、ご回答ください。

1 ノーベル賞（自然科学分野）の受賞に関するニュース

年度	詳しく確認	目に留まる	関心はない	合計
R6	18.2%	66.7%	15.2%	99

3 iPS細胞の医療への応用に関するニュース

年度	詳しく確認	目に留まる	関心はない	合計
R6	15.2%	66.7%	18.2%	99

5 人工衛星やロケット技術の開発など宇宙に関するニュース

年度	詳しく確認	目に留まる	関心はない	合計
R6	15.2%	69.7%	15.2%	99

2 大学や企業を訪問して先端の研究技術を学習する。

年度	とてもあった	あった	わからない	回答数
R6	8.1%	38.4%	53.5%	99

4 PCを活用してExcelの表計算やPowerpointのポスター発表などに技術を身につける。

年度	とてもあった	あった	わからない	回答数
R6	28.3%	45.5%	26.3%	99

6 適性のある分野を新たに発見し、進路の選択を多様なものとする。

年度	とてもあった	あった	わからない	回答数
R6	14.1%	37.4%	48.5%	99

2 学校生活（行事予定、部活動など）

年度	年に数回以上	年1回	3年に1～2回	ない	回答数
R6	64.6%	17.2%	12.1%	6.1%	99

4 SSHホームページ全般

年度	年に数回以上	年1回	3年に1～2回	ない	回答数
R6	28.3%	25.3%	31.3%	15.2%	99

2 生成AIの活用に関するニュース

年度	詳しく確認	目に留まる	関心はない	合計
R6	25.3%	65.7%	9.1%	99

4 南海トラフなど地震に関するニュース

年度	詳しく確認	目に留まる	関心はない	合計
R6	52.5%	41.4%	6.1%	99

6 高校生による科学分野の新発見・解明などのニュース

年度	詳しく確認	目に留まる	関心はない	合計
R6	23.5%	61.2%	15.3%	98

詳しく確認している、目に留まることがある、特に関心はない

P-5 生徒が本校に入学する以前と比べて、保護者様ご自身の理数分野への関心は高まったと思いますか。

年度	そう思う	わりと思う	変わらない	合計
R6	12.2%	31.6%	56.1%	99

P-6 学校および先生方の取組に今後も期待したいことを次の中から選んでください。（複数回答可）

年度	教科の授業の充実	探究活動に関する授業の充実	進路指導	部活動の充実	国際的な活動への参加推進	研究発表会への参加推進	学習面における他校生徒との交流	回答数
R6	73.7%	53.5%	67.7%	36.4%	40.4%	37.4%	20.2%	99

P-7 お子様の将来は、どのような分野で活躍すると期待されますか。（複数回答可）

年度	法務	公務員	金融関係	営業、販売	マスメディア	芸術・デザイン	教育	社会福祉	医療、看護	自然・化学研究
R6	9.1%	14.1%	8.1%	8.1%	13.1%	14.1%	22.2%	5.1%	7.1%	22.2%

年度	IT	建築、土木	スポーツ	運輸・通信	食品・栄養	特に思い当たらない	その他	合計	（その他・記述）	
R6	23.2%	2.0%	5.1%	6.1%	7.1%	10.1%	6.1%	99	エンジニア、外交関係、人と科学の融合など	

P-8 お子様の将来は、どのような人物になると期待されますか。次の項目から該当するものがあれば選んでください。（複数回答可）

年度	リーダーシップを発揮する	国際的に活躍できる	新たなものを発見、開発する	人を育てることができる	一つの道を究めることができる	特に思い当たらない	回答数
R6	20.4%	22.4%	28.6%	26.5%	49.5%	10.2%	99